

9月1日は「防災の日」

防災の日とは

- 1923（大正12）年9月1日午前11時58分に発生した**大正関東地震**（関東大震災）では、死者・行方不明者が**約10万5千人**にのぼりました。地震発生と昼食の支度が重なり、犠牲者の約**9割**が火事等の2次災害によるものでした。
- また、1959（昭和34）年9月には**伊勢湾台風**が発生し、戦後最大の被害となりました。
- これらの災害の教訓を踏まえ、9月1日は「**防災の日**」、この日を含む1週間は「**防災週間**」と定められています。



東京駅前の焼け跡、日本橋方面



伊東海岸津波の跡

関東大震災の教訓を学ぶ



関東大震災の被害や教訓を紹介する
特設サイトはこちら

日頃から備えよう

自然災害はいつ起こるか分かりません。いざという時に備え、家庭や職場で複数の**避難場所・避難経路・集合場所・連絡方法**等を事前に確認することが大切です。

家具の固定 	非常用持ち出し袋の準備 	水や食料の備蓄 	避難場所や避難経路の確認 	感震ブレーカーの設置 	建物の耐震化
------------------	------------------------	--------------------	-------------------------	-----------------------	-------------------

監修：内閣府(防災担当)、気象庁

防災訓練に参加しよう

発災時には自身の安全を守ることが最も大切です。また、「共助」「公助」による社会全体の防災力も重要です。「防災の日」や「防災週間」には、自治体等で**訓練や防災に関する行事**が行われています。積極的に参加しましょう。

自らの命、大切な人の命を守るために、今から準備しておきましょう



地震に関する情報は
沖縄気象台ホームページまで

<https://www.data.jma.go.jp/okinawa/index.html>

沖縄気象台

Q 検索

